



かけはし

日本YMCA大会に参加して

劉慶鍾(ソウルYMCAスタッフ)

ソウルYMCA から在日韓国YMCA に半年間の研修に来ている劉慶鍾(ユ・キョンジョン)さんが研修の一環として2011年10月29から30日の日程で行われた第17回日本YMCA大会に参加しました。その感想と今後への意気込みを語っていただきました。



右から二番目が筆者

日本YMCA 同盟国際青少年センター東山荘にて、第17回日本YMCA大会が開催され、たくさんのボランティアや事務局スタッフが参加するこの大会に私も参加してきました。

本大会への参加は、在日韓国YMCA に6ヶ月の予定で研修に来た私にとって、世界YMCA大会が開かれた歴史あるキャンプ場である東山荘

を見学できるよい機会となりました。また、ソウルYMCAに20年間身を置いている一人として、大会で日本のYMCAの理念と事業を学び、そして多くの素晴らしいスタッフ達と出会うことができたのは、またとない貴重な経験でした。

いつか必ず一度は訪れたいと思っていた東山荘は評判どおりの場所で、私の期待を裏切るものではありませんでした。富士山が見える東山荘の美しさといったら、今でも忘れることができません。

まだ日本語がうまくできないため、大会で議論された内容の詳細は理解できませんでしたが、参加者たちの情熱と意気を感じることができただけでも、十分に意味があったといえます。

大会では、礼拝、パネラーによる事業報告、討論会、キャンプファイヤー、懇親会などが行われました。日本のYMCAの各事業を確認し合い、討論していく中で、今後の発展のために積極的に努力しようとする参加

者の様子を垣間見ることができました。キャンプファイヤーでは、東山荘の歴史と伝統、そして深さを身をもって体験することができ、参加者が一つになることができた意味深い時間でした。

また、懇親会では尊敬する日本YMCA同盟中川善博理事長をはじめ、以前私が研修で大阪YMCAにいた時にお世話になった池田勝一さん(宮古ボランティアセンター所長)、松野時彦さん(大阪YMCA総括本部長)、そして日本YMCA同盟島田茂総理事ほか各YMCAの総理事、そして彼らと共に仕事をしている若いスタッフの皆さんと出会うことができた意味のある場でありました。

大会が終わってから、東山荘本館に展示された様々な記録写真を見て、今一度日本のYMCAの歴史と伝統を感じることができました。また、それらは研修中の私にとって東山荘を深く理解できる展示であったといえます。このように、キャンプのプログラムを運営している一員である私に、東山荘は多くのことを教えてくれました。

今大会の参加は、貴重な経験と出会いをすることができた、意味ある時間でした。この忘れぬ時間を持つことができたのは、大会の参加を許して下さった在日韓国YMCA金秀男総務のおかげであります。総務と、大会の間、親切にしてくださった関係者の皆さんに心より感謝申し上げます。そして私に同行してくれた高橋梓さんに感謝申し上げます。

研修が終わって韓国に帰っても、皆さんへの感謝を胸に、韓国と日本のYMCAの友好と親善、交流協力の一翼を担うことができるよう、最善をつくしたいと思います。

募金にご協力ください 「東日本大震災YMCA救援・復興募金」 未曾有の困難に祈りをもって 立ち向かいましょう。

窓口に持参または郵便振替で 00190-4-539049 在日韓国YMCA

聖書に聴く 第6回 許伯基 牧師(ホ・ベッキ / 在日大韓基督教会 つくば東京教会)

新しい年が始まりました。一年をはじめにふさわしい祝福の約束の言葉を引用します。

私は主によって喜び楽しみ、私の魂はわたしの神にあって喜び踊る。主は救いの衣を私に着せ、恵みの晴れ着をまわらせてくださる。花婿のように輝きの冠をかぶらせ、花嫁のように宝石で飾ってくださる。(イザヤ 61:10)

美しい言葉ですが、このイザヤによる預言は、このような美しさとは無縁の絶望に打ちひしがれている人たちに宛てられたみ言葉なのです。

バビロンに40年以上の間捕虜となっていたユダヤ人たちが解放されて、故郷であるエルサレムに帰ってきました。エルサレム再建の志に燃えていた彼らを待っていたのは厳しい現実でした。町は知らない人たちに占められていて居場所がありませんでしたし、神殿を再建するという大事業を行うには、あまりにも彼らの力は弱かったのです。「あのまま慣れ親しんだバビロンに定住していた方が良かったのではないかと誰もが思ったことでしょうか。

そんな疑いの中で、このみ言葉が語られました。「大地が草の芽を萌え出させ、園が蒔かれた種を芽生えさせるように、主なる神はすべての民の前で、恵みと栄誉を芽生えさせてくださる(61:11) 凍てついた大地から春になれば、草花がちゃんと生えてくるように、死んでいるようにみえる種から、ちゃんと命の芽が出てくるように、必ず神の恵みがわたしたちを覆うときが来る。だから信じて待ちなさい。エルサレム再建の手をゆるめることなく、祈りながら努力し続けなさい、というメッセージなのです。

皆さんはどんな思いでこの新年を迎えておられるでしょうか? このみ言葉は「厳しい現実を悲観してばかりいずに、神の約束を信じて前に進みなさい」と勧めています。神の恵みは、現実ばかりを計算する中には生まれません。「このような逆境や困難にもかかわらず、わたしたちは神の約束を信じる」という決断をしてこそ、わたしたちは神の恵みへと招かれます。わたしたちを愛する神が、み心に適った祝福をわたしたちに準備してくださっていることを信じて、希望の一年を歩んでいきましょう。

今後の予定 2012年1月～3月

◆2・8 独立宣言第93周年記念式
1919年2月8日、YMCAに集まり独立宣言を高らかに唱えた当時の青年たちの勇気と思いを継承し、過去の不幸な時代を繰り返すことなく、韓国と日本が和解と共生の道を歩むことを願って、今年も「2・8 独立宣言記念式」を開催します。2月8日(水)午前10時より。会場:地下スペースワイ。

◆演劇「月南 李商在」
2・8 独立宣言第93周年記念公演として、「今号の人」(2ページ)で紹介した月南・李商在の生涯の足跡をたどる演劇を上演します。韓国の舞台、映画など第一線で活躍するキャストが韓国から来日します。多くの皆さんのご来場をお待ち申し上げます。2月8日(水)・9日(木)・10日(金)午後7時開演。会場:地下スペースワイ。入場無料。主催:JS Theatre / 在日韓国YMCA。後援:駐日韓国大使館 韓国文化院・在日大韓国民団東京地方本部・在日韓国人連合会・在日大韓基督教会関東地方会・在日韓国基督教総協協会。

◆韓国伝統楽器・舞踊教室発表会
YMCA 韓国伝統楽器・舞踊教室受講生による毎年恒例の発表会です。初心者からセミプロ並みのベテランまで、一年の練習の成果を披露します。関心のある方はどなたでもご覧いただけます。3月10日(土)午後2時30分開演。会場:地下スペースワイ。入場無料。

- 【東京韓国YMCA】
- 2/8(水) 2・8 独立宣言第93周年記念式
 - 2/8(水)～2/10(金) 演劇「月南 李商在」
 - 3/5(月) 第220回教界指導者朝餐祈禱会
 - 3/10(土) 韓国伝統楽器・舞踊教室発表会
 - 3/16(金) 日本語学校卒業修了式
- 【関西韓国YMCA】
- 2/1(水) 2・8 記念礼拝(豊中第一教会)
 - 3/13(金) 第103回教界指導者早天祈禱会



《編集後記》
たまに「元気?」と聞いてくれる言葉から本当に元気になることがあります。今年は自分から周りに積極的に言うことにします。「元気?」(朴)2012年が始まりました。去年は何かと大変な年でした。今年こそは飛躍の年にしたいです。(才)
スマホデビューしました。まだ慣れなくて一日中画面にとらめっこしています。(た)
これまでの「ペ」は「白宣基」でした。新スタッフとかぶるので「ペ」あらため「白」にします。(白)
演劇が楽しみでなりません。(AT)

KAKEHASHI かけはし 2012 Jan. vol.6

発行人:金秀男 発行:在日韓国YMCAアジア青少年センター
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-5-5
TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/ ayc@ymcajapan.org

『かけはし』次号は2012年4月発行予定です。
Twitter ツイッター @zainichiyca
より良い紙面づくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。

2011年10月から12月のその他の活動

YMCA/YWCA合同祈禱会

11月17日、東京YMCA、東京YWCA、在日韓国YMCA共同主催による2011年度のYMCA/YWCA合同祈禱会が東京YMCAにおいて行われました。今年は「影響を与える声」～若者は権利と正義を呼び求める～をテーマに有住航伝道師(早稲田教会)がメッセージをお話くださいました。

牧会者一泊協議会

11月28日～29日に箱根のウィスタリアンライフクラブ・ヴェルデの森において、2011年度のYMCA牧会者一泊協議会(兼・第2回教会協力委員会)が行われました。日頃からYMCAを支えてくださっている各教会の牧師の先生方にお集まりいただき、今後のYMCAと教会との協働をめぐって有意義な話し合いのときを持ちました(参加者13名)。

第4回チャリティーゴルフ大会

12月8日、オリムピック・スタッフ足利ゴルフコース(栃木県)で第4回チャリティーゴルフ大会が開催されました。多くの会員、企業の皆様に協賛をいただき、たいへん寒い中でしたが36名の選手が集まり開催された今大会の優勝者は朴裁世さんでした。収益は(1)愛のきずな回復一困難な状況に置かれている韓国人の支援、(2)パレスチナにおける平和構築一東エルサレムYMCAとの交流プログラム、(3)アジアの指導者養成一在日留学生への奨学金、のために用いられます。

子どもクリスマス

12月23日にYMCA子どもクリスマスが行われました。クリスマスのおはなしを聞いたり、リーダーたちが準備してくれた工作やゲームで遊んだりして、楽しい時間を過ごしました。おいしいケーキもいただき、最後にはサンタさんから素敵なプレゼントももらって、みんなとても喜んでいました。

陣内幸代さんが地球市民国際フォトコンテスト入賞!



陣内幸代さん(東京センテニアルYサービスクラブ)が2010年パレスチナ・オリブ収穫ツアーに参加した際に撮影した写真2点が、日本YMCA同盟主催YMCA地球市民国際フォトコンテスト2011において、銀賞と協賛企業賞を受賞されました。パレスチナの子どもの生き生きとした表情をとらえたこれらの入賞作品は、日本YMCA同盟のウェブサイトでもご覧いただけます(左は銀賞の「ぼくもお手伝い」、右は協賛企業賞の「まなざし」)。

今号の人 第3回

李商在 (イ・サンジェ、1850-1927)



李商在(号:月南<ウォルナム>)は甲申政変、独立協会運動、3・1運動、新幹会運動といった、19世紀後半から20世紀前半における朝鮮近代史上の主要事件のほとんどに関わった傑物です。また、設立(1903年)直後の皇城基督教青年会(現在のソウルYMCA)に入会以来、朝鮮におけるYMCAの発展に尽くし、当時の日本YMCAからの同化圧力に対し先頭に立って抵抗した、韓国YMCA運動の父とも言える人物です。

彼は1881年、32歳のときに視察団の一員として日本を訪れ朝鮮の近代化の必要を認識して以来、前半生は官界において近代的改革を目指しましたが、主導した独立協会運動の収束後に失脚し、数年間獄中生活も経験しました。獄にあった54歳のとき(1903年)キリスト教に出会った後の後半生は、ずっと野にあって朝鮮の独立回復のための青年指導者育成や言論活動に生涯を捧げ

ました。日本による韓国併合(1910年)後、独立運動指導者の多くは海外に亡命しましたが、彼はずっと朝鮮に留まり続け、YMCAを根拠地として活動を展開しました。1927年、民族主義者と社会主義者が独立運動のための統一戦線を組み新幹会を結成した際、すでに78歳であったにもかかわらず会長に選ばれた事実からも、世代や政治的立場を超えて彼の人望がいかに厚かったかがわかります。亡くなった際には盛大な社会葬がソウルで行われました。



李商在の社会葬の様子

国外で華々しい武力闘争を行った人物ではないせいか、彼の名前は日本ではそれほど知られていませんが、韓国と日本の近代史を振り返り、かつての不幸な時代

を繰り返さないように心に刻むためにも、その生涯の足跡を学ぶことは意味があるでしょう。

※ 演劇「月南 李商在」が2月8日~10日にYMCA地下スペースワイホールで上演されます。詳しくは4ページをご覧ください。

考える「かけはし」

第6回 会員である限り、その理念を伝える、広める使命があります。「かけはし」の復刊にあたり、YMCAそして在日本韓国YMCAについて、もう一度、知り、考えるきっかけになればと思います。第6回は2・8独立宣言記念資料室の動きについて考えます。



在日本韓国YMCAの正面入口脇にある「朝鮮独立宣言記念碑」

「2・8独立宣言」は、朝鮮の留学生たちが日本の植民地支配に抵抗するため、東京朝鮮キリスト教青年会(現在の在日本韓国YMCA)講堂に集結し、宣言された(1919年2月8日)。その運動は単なるその場での宣言にとどまらず本国での3・1独立運動の母体となり、また大韓民国上海臨時政府樹立に貢献した。

「2・8独立宣言記念資料室」は在日本韓国YMCA創立100周年事業として開設された。私は2・8独立宣言についてほとんど学ぶ機会がなく、恥ずかしながらよく知らなかった。そこで今回初めて、2・8独立宣言記念資料室を訪ねた。宣言署名者11名の写真が掲示された階段を上り、中に入ると2・8独立宣言前後の情勢から関東大震災時における朝鮮人の虐殺まで当時の新聞記事や文献等の貴重な資料とともに、わかりやすいパネルによる説明があり、映像資料も見られるようになっている。パネルを一枚一枚読むごとに引き込まれ、「何となく」知っていたことが「それ以上の史実」となり、衝撃を受けた。そして、わずか11名の行動(その背後に様々な人々の助け、民族の総意があったにせよ)が国を、世界を変えるというダイナミズムを生々しく感じる事が出来た。在日コリアンの精神的支柱という意味が少しわかった気がした。また、2・8独立宣言で逮捕された学生を日本人の著名な弁護士(布施辰治)が無償で弁護したというエピソードもあり、その暗い歴史の中にも「和解と共生」の礎がみられた。共生の意義、築かれていく過程、その中での人々の働き。そして最後のパネル

は現在の友好関係と未来への希望で終わる。そういった「和解と共生」という立場から「2・8独立宣言」をみる事が出来るのは世界的に見ても他にないだろう。まさに在日本韓国YMCAでしか持ち得ない、また、在日本韓国YMCAだからこそ説得力のある視点である。この説得力はまさに最初の資料室紹介用のパネルに書いてある「青少年たちの歴史意識を啓発する場、人と文化の出会い学びの場、和解と共生の働きを拡充する場」となるべき「歴史の場」である使命ともいえる。そこに世界の民族紛争解決のヒントがあるといっても過言ではないだろう。民族を問わず、「2・8独立宣言」を知っている人も知らない人も、民族独立運動のルーツを学ぶために、またその先にある「和解と共生」を実感するために是非一度足を運んでほしい。



「2・8独立宣言記念資料室」

2011年10月から12月のプログラム

会館2階にレストラン新規開店、店名は「アリラン」



「アリラン」店内の様子

YMCAをご利用の皆さん、大変お待たせいたしました。2階レストランが新しく生まれ変わり、レストラン<アリラン>として営業を始めました。

落ち着いた雰囲気に加えて韓国の古民家をイメージした内装の中、ゆったりと韓国家庭料理を堪能していただければと思います。

店内ホテルロビー側の壁面に描かれた韓国の民話風の絵が温かみと明るさを醸し出しており、たいへん素晴らしいものになっています。レストラン<アリラン>にお越しの際は是非、ご覧になってください。



壁には韓国の民話風の絵が描かれています。

以前から好評の宿泊者限定200円の朝食も復活、平日にはお得な日替わりランチサービスもあります。さらに、人数に合わせた様々なパーティープランにも対応しています。

レストラン<アリラン>、またYMCAのスタッフ一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



青年たちによる賛美とパフォーマンス

「YMCAクリスマスの夕べ」が行われました

「YMCAクリスマスの夕べ」が12月11日に開かれました。

クリスマスメッセージを横浜教会の李明忠牧師が伝えた後、在日大韓基督教会関東地方連合青年会やAJAなどの祝賀公演、そして教会連合聖歌隊のハレルヤコーラスなどが続きました。イエス・キリストの誕生を祝う会として毎年YMCAが教会と協力して開催している「クリスマスの夕べ」は、今年も会場のスペースYを満席にして、参加者が互いに2011年を振り返りながら、慰め、喜び祝う場として豊かに用いられました。



チャングラスの方たちがバザーのフィナーレを盛り上げてくださいました。

毎年恒例! YMCAバザー Y・와이フェスティバル2011

「Y・와이フェスティバル」(YMCAバザー)が11月19日に開催されました。

強い風と雨の中、少々不安を感じながらのオープンとなりましたが、その心配をよそに、たくさんの来場者でにぎわいました。

各国の料理が味わえる留学生による屋台をはじめ、韓国物産市、掘り出し市はもちろん、普段YMCAで礼拝を行っているインドネシア福音教会と東京オアシス教会(朝鮮族教会)の皆さんも参加してくださり、いつもより内容盛りだくさんのバザーとなりました。

今回の収益(約35万円)は東日本大震災外国人被害者支援プロジェクトをはじめとする諸団体の活動支援のために、また日本語学校学生の奨学金として用いられます。



募金にご協力ください 「東日本大震災 YMCA 救援・復興募金」 未曾有の困難に祈りをもって 立ち向かいましょう。 窓口持参または郵便振替で 00190-4-539049 在日本韓国YMCA